

大牟田市介護支援専門員連絡協議会

平成30年度定期総会

議 案 書

議 案

議案第1号	平成29年度事業実績報告……………	1
議案第2号	平成29年度決算報告及び基金運用状況報告ならびに監査報告……………	10
議案第3号	平成30年度事業計画（案）……………	14
議案第4号	平成30年度予算（案）……………	16
議案第5号	大牟田市介護支援専門員連絡協議会規約改正について……………	18
議案第6号	役員改選について（案）	
参考資料－1	大牟田市介護支援専門員連絡協議会規約……………	19
参考資料－2	大牟田市介護支援専門員連絡協議会組織図……………	23

平成29年度事業実績報告

1. 総括

平成29年度は、「地域包括ケアシステムの構築」に向けて、大牟田市地域医療・介護連携推進ビジョンに基づき、多職種での連携を深めていく年であった。

そのような中、当協議会としては、対人援助専門職としての高い専門性と倫理観を身につけることを目指した継続的な研修会を行うとともに、地域ケア会議への積極的な関わり、主治医をはじめとした医療との連携強化、多職種との連携構築に向けた活動を基本方針として取り組んだ。

ケアマネジメントサポート事業については、大牟田市より事業を受託し、地域包括支援センターと共働で取り組んだ。市内事業所の介護支援専門員が抱えるケースや事業運営上の課題等の解決に向けて共に考える訪問相談事業や包括圏域ごとに“気軽に集える場づくり”や“勉強会の企画”を行い、介護支援専門員全体の質の向上と連携体制の構築につとめてきた。

研修事業については、対人援助職者としての成長には不可欠である“常に基本に戻ること、実践の振り返りと検証を継続すること”を軸とし、基礎研修・共通研修では対人援助の枠組みや必要な知識・援助技術を学ぶ研修会を開催した。熟達研修では、初級編・中級編のグループを編成し、毎月1回グループスーパービジョンを実施し、対人援助職者としての熟成に努めた。また、施設ケアマネジメント研究活動支援については、今後の継続的な活動につながるよう実践事例を用いた事例検討をとおして学びを深めた。

利用者支援における多職種連携の基盤づくりについては、主治医と介護支援専門員をはじめとした多職種交流事業として研修会と交流会を開催した。また、医療・介護連携推進事業では、セラピストと意見交換を行い、医療連携支援体制の構築を目指した。

情報の共有・発信については、“あいネット”を活用するとともに、機関誌“きらめき”を定期及び号外として適宜発行することで、協議会の取り組みや研修会等の報告、実践事例の紹介及び社会資源の情報発信に努めた。しかし、“あいネット”の活用状況や費用対効果の面から、ホームページリニューアルと情報発信の再検討も並行して行った。

平成29年度も充実した活動内容ではあったが、事業所会員41件、個人会員248名であり、会員の増加が伸び悩み、事業予算の確保など課題が残っている。また、平成31年には、当協議会設立20周年を迎えることになり、組織の在り方や各事業の方向性を見直し、更なる活動の充実を図る必要から会員を対象としたアンケートも実施した。今後は、アンケートに基づく会員の皆さんの声を活動に反映させ、活気ある取り組みにつなげていきたい。

おわりに、当協議会の活動を支援していただいた大牟田市関係課や大牟田市介護サービス事業者協議会など諸関係団体、及び会員の皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き今後の活動についてご支援、ご協力をお願いし、平成29年度のまとめとしたい。

2. 事業部会事業実績

(1) 事務局

①役員会の開催

◆第1回（6月23日）

- 議題：1. 各事業部会の進捗状況について
2. 認知症地域医療連携協議会の委員の推薦について
3. 大牟田市居住支援協議会 役員候補者の推薦について
4. ケアマネサポート事業と研修部会開催研修との関係性について
5. ホームページリニューアルについて

◆第2回（9月19日）

- 議題：1. 各部会の進捗状況について
2. ホームページリニューアルについて

◆第3回（11月29日）

- 議題：1. ホームページ作成業者選定について
2. アンケートの実施について
3. 講師謝金内規について
4. 広報部会員の追加について

◆第4回（2月8日）

- 議題：1. 総会までのスケジュールについて
2. 来年度の事業計画について
3. 役員改選について
4. 講師謝金内規について
5. 20周年記念事業の方向性と実行委員会について
6. 全体交流会の方向性と実行委員会について
7. ホームページの確認と説明会について
8. 大牟田市地域包括支援センター運営協議会委員の推薦について
9. 大牟田市住宅審議委員会委員の推薦について

◆第5回（3月7日）

- 議題：1. 平成29年度事業報告・決算報告及び平成30年度事業計画案・予算案について
2. 平成29年度決算資料・平成30年度予算について
3. 内規について
4. 役員改選について
5. 規約の見直しについて

②平成29年度定期総会の開催

日時：4月27日（木）18：00～19：00

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

- 議案：1. 平成28年度事業実績報告
2. 平成28年度決算報告及び基金運用状況報告ならびに監査報告
3. 平成29年度事業計画（案）

4. 平成29年度予算（案）

5. 監事交代について

③介護関係イベントへ参加及び行政・介護サービス事業者協議会・大牟田医師会との連携

- ◆大牟田市いきいき長寿まちづくり協議会 安藤会長が委員として参加
- ◆大牟田市地域包括支援センター運営協議会 松下情報交流事業部会長が委員として参加
- ◆大牟田市障害者自立支援・差別解消支援協議会 井形事務局次長が委員として参加
- ◆認知症地域医療連携協議会 松下情報交流事業部会長が委員として参加
- ◆大牟田市居住支援協議会 安藤会長が監事として参加
同協議会 橋口事務局長が委員として参加
- ◆大牟田市市営住宅審議委員会 小島広報事業部会長が委員として参加
- ◆大牟田地域健康推進協議会へ加盟
- ◆大牟田みんなの健康展 2017 へ参加『介護なんでも相談室』としてコーナーを担当
- ◆在宅医療・介護シンポジウム（2月17日）共催
- ◆大牟田市 地域ケア会議への主任介護支援専門員推薦
- ◆在宅医療拠点整備事業 林副会長が委員として参加

④他市町村協議会等との連携と情報収集

日程：9月2日

会場：福岡赤十字病院

内容：よかばいセミナー「対人援助専門職に必要なアセスメント力」

講師：渡部 律子氏（日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授）

林副会長、梅田研修部会長参加

⑤ケアマネ支援事業（ケアマネジメントサポート事業）

◆全体会議

日程：5月10日

会場：大牟田市総合福祉センター 大会議室

参加者：56名

◆全体研修会

日程：11月25日

会場：大牟田市総合福祉センター 大会議室

内容：アセスメント手法と課題整理総括表の活用について

講師：金子 大介氏（福岡県介護支援専門員協会 常任理事）

参加者：53名

◆サポート事業連携担当会議

①日程：5月10日 ②日程：7月28日 ③日程：1月12日

包括圏域毎に独自の取り組みを実施

◆訪問相談事業

平成29年7月～平成30年3月にかけて当協議会主任介護支援専門員、地域包括支援センターでケアマネジメントサポートチームを編成し、39カ所の事業所を訪問、49件の相談ケースに対応した。

⑥施設ケアマネジメント研究活動への支援

◆施設ケアマネジメントに関する研修会の開催

日程：2月16日

会場：大牟田市総合福祉センター 大会議室

内容：「事例検討会」

講師：黒田 直氏（介護老人保健施設 聖ルカ苑 施設次長）

参加者：39名

⑦利用者を地域で支えていくための基盤づくりに関する取り組み

◆利用者を地域で支えていくことの重要性を理解し、実践につなげていくための研修会の開催

日程：8月24日

会場：大牟田市総合福祉センター 大会議室

内容：「利用者を地域で支える基盤づくり」

講師：倉光 聡美氏（大牟田市中央地区地域包括支援センター）

前田 佳宏氏（大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会）

夏目 尚氏（同協議会）

参加者：46名

⑧あいネットの管理運営支援

大牟田市介護サービス事業者協議会と連携し、運営・管理・今後の運用方法について検討を行った。また、ホームページリニューアルに伴う実行委員会の立ち上げと運用方法の協議、説明会を開催した。

⑨会員全体交流会（各部会による実行委員会）

会員相互交流を目的とした会員全体交流会を実施した。

日程：9月1日

会場：新みなと

参加者：65名

⑩部会活動～会議の開催

第1回	4月 1日	平成29年度定期総会について
第2回	5月17日	平成29年度各事業役割分担について ケアマネ支援事業の事業予算の使用について

第3回	6月9日	利用者を地域で支える基盤づくりの研修について アンケートの実施について ケアマネジメント支援事業について みんなの健康展について
第4回	8月10日	平成29年度利用者を地域で支えていくための研修会について みんなの健康展につて 三池地区地域ケア会議の主任介護支援専門員の推薦について
第5回	11月9日	アンケートについて 施設ケアマネジメントについて ホームページリニューアルについて
第6回	2月14日	各事業の進捗状況について 施設ケアマネジメント研修について 次年度の事業計画について
第7回	3月20日	平成30年度定期総会について 地域ケア会議の主任介護支援専門員の推薦について

(2) 研修事業部会

①共通研修（フォローアップ全体研修）の開催

◆第1回（3月4日）

内容：「スーパービジョン研修」

講師：高橋 学氏（昭和女子大学大学院 教授）

会場：社会保険大牟田天領病院 福祉センター

参加者数：50名

②熟達研修（スーパービジョン研修）の開催

平成29年度より2年間の課程で月1回スーパービジョン研修を実施し、中級編27名、初級編21名が参加した。

③基礎研修の開催

◆第1回（7月7日）

内容：「ケアマネジメントとは」

講師：林 洋一郎氏（高齢者総合ケアセンター サンフレンズ 施設長）

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

参加者数：43名

◆第2回（8月30日）

内容：「緩和ケア看護について」

講師：樋口 愛子氏（大牟田市立病院 緩和ケア認定看護師）

会場：社会保険大牟田天領病院 福祉センター

参加者数：47名

◆第3回（9月28日）

内容：「地域福祉の実践について」

講師：猿渡 進平氏（白川病院 地域連携室 室長）

会場：社会保険大牟田天領病院 福祉センター

参加者数：47名

◆第4回（10月13日）

内容：「面接技法について」

講師：大垣 京子氏（日本医療ソーシャルワーカー学会 会長）

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

参加者数：50名

◆第5回（11月16日）

内容：「皮膚・排泄ケアについて」

講師：竹下 裕子氏（米の山病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）

会場：社会保険大牟田天領病院 福祉センター

参加者数：25名

◆第6回（2月22日）

内容：「変わる社会と高齢者の人権～ケアされる人も、ケアする人も大切な存在」

講師：馬場 周一郎氏

会場：社会保険大牟田天領病院 福祉センター

参加者数：41名

④部会活動～会議の開催（2回）

第1回	4月24日	平成28年度事業計画について
第2回	5月22日	平成29年度事業計画について

(3) 広報事業部

①会報「きらめき」の発行（年3回）

◆VOL. 63号（平成29年7月発行）

- ・平成29年度定期総会報告
- ・H29年度ケアマネジメントサポート事業について
- ・介護支援専門員実務研修の実習について
- ・シリーズ実践事例「地域と本人のはざままで今後の方針を決める事が難しかった事例」
- ・リレー随想 三池地区地域包括支援センター 田中 和美氏
- ・保険者（大牟田市長寿社会推進課）からのお知らせ

◆VOL. 64号（平成29年11月発行）

- ・「利用者を地域で支えるための研修会」
- ・基礎研修②「緩和ケア看護について」
- ・基礎研修③「地域をつなぎ“住み慣れた家での生活”を作る」
- ・大牟田市内認知症カフェの紹介
- ・シリーズ実践事例「身体的に在宅生活が困難であるにもかかわらず、施設入所を拒否され続

けた方の入所支援を振り返る」

- ・リレー随想 大牟田医師会ケアプランセンター 永野 和美氏
- ・保険者（大牟田市健康長寿支援課）からのお知らせ

◆VOL. 65号（平成30年3月発行）

- ・H29年度主治医と介護支援専門員～講演会・交流会～
- ・第9回多職種連携促進のための意見交換会
- ・ケアマネジメントサポート事業～質の向上のための研修会～
- ・事例検討会～施設ケアマネジメントの実践～
- ・シリーズ実践事例「ご家族と関わり方が難しかった事例」
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業について
- ・リレー随想 中央地区地域包括支援センター 一瀬 佳子氏
- ・保険者（大牟田市健康長寿支援課）からのお知らせ

◆きらめき号外発行（あいネット掲載）

- ・きらめき号外1号発行 平成29年12月
「望む生活に向けての支援～解決構築の面接技法から学ぶ～」
- ・きらめき号外2号発行 平成30年2月
「皮膚・排泄ケアについて」
- ・きらめき号外3号発行 平成30年4月
「スーパービジョン研修」

②広報事業部会活動、会議の開催（6回）

第1回	4月26日	きらめき63号編集会議
第2回	8月25日	きらめき64号編集会議
第3回	1月16日	きらめき65号編集会議

*きらめき各号の発送作業3回・企画打ち合わせ

(4) 情報交流部会

①医療・介護の多職種、地域団体との連携推進のための交流事業

介護予防やリハビリテーションに焦点を当て、各セラピスト（OT、PT、ST）との意見交換会を開催した。この意見交換会では、特に病院に勤務しているセラピストとの連携について、事例を使って支援の方法を検討した。また、これからの課題も共有することができた。

日程：11月28日

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

内容：第1部 事例を通してお互いの役割等について理解を深める

「入院時の情報交換について」

「在宅復帰における今後の支援について」

第2部 意見交換会

テーマ「入院支援における連携の取り方（顔の見える連携づくり）」

～より良い連携の取り方や困っていること～

参加者数：109名 PT 39名 OT 15名 ST 1名 看護師 1名
介護支援専門員 53名

②主治医と介護支援専門員をはじめとした多職種交流事業の開催

今回は医師・介護支援専門員に参加をしほり、在宅支援診療所を開業されている講師を招き、地域において利用者を最後まで支援していくために多職種との連携、チーム作りについて学んだ。2部では、連携がよりいっそう前進し課題が共有できることを目的に交流会を開催した。

日程：1月25日 19:00～21:30

会場：ニューガイア オームタガーデン 平安の間

内容：第1部 講演会

「在宅医療と多職種連携 在宅看取り医療を中心に」

講師：医療法人ソレイユ ひまわり在宅クリニック

理事長 院長 後藤 慶次氏

参加者：87名

医師 15名 介護支援専門員 67名 行政 5名

第2部 交流会

参加者：49名

医師 15名 介護支援専門員 29名 行政 5名

③部会活動～会議の開催（10回）

第1回	5月18日	年間事業計画
第2回	7月4日	年間事業計画
第3回	8月3日	医療・介護、多職種、地域団体との連携推進のための交流会の内容について検討
第4回	9月4日	医療・介護、多職種、地域団体との連携推進のための交流会の内容について検討計画内容の検討
第5回	9月25日	医療・介護、多職種、地域団体との連携推進のための交流会の呼びかけや内容について
第6回	10月22日	年間事業の日程、場所の検討
第7回	11月22日	医療・介護、多職種、地域団体との連携推進のための交流会及び医師と介護支援専門員、多職種連携交流会について

第8回	12月11日	医師と介護支援専門員をはじめとした多職種交流会 について及びアンケートのまとめ
第9回	1月16日	医師と介護支援専門員をはじめとした多職種交流会 の運営について
第10回	2月13日	医師と介護支援専門員をはじめとした多職種交流会 のアンケートのまとめ 年間行事についてのまとめ

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B) - (A)	摘 要
1 会員会費	1,359,000	1,359,000	0	事業所会員：41事業所 個人会員：248名
2 負担金	65,000	53,000	-12,000	
参加負担金	65,000	43,000	-22,000	SV研修参加費
共催負担金	0	10,000	10,000	施設ケアマネジメント研修における大牟田市介護サービス事業者協議会からの共催負担金
3 ケアマネジメントサポート事業	1,189,000	975,553	-213,447	213,447円は市に返還
4 雑収入	1,000	16	-984	預金利子等
5 繰越金	286,000	286,705	705	平成28年度決算繰越金286,705円
6 介護ネットシステム積立金繰入金	300,000	319,905	19,905	
収入合計	3,200,000	2,994,179	-205,821	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	予算流用額	最終予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B) - (A)	摘 要
1 事業費	2,925,000	91,453	3,016,453	2,528,317	488,136	
1 事務局運営管理費	2,068,000	91,453	2,159,453	1,945,886	213,567	
(1)総務費	180,000	65,177	245,177	245,177	0	総会関係費(会場借上料、印刷製本費等)、施設ケアマネジメント研究研修会費他
(2)事務局業務委託費	360,000	0	360,000	360,000	0	大牟田市介護サービス事業者協議会への事務委託費
(3)ホームページ構築費	300,000	26,276	326,276	326,276	0	大牟田あんしんケアネット保守管理費
(4)介護ネットシステム運営費	39,000	0	39,000	38,880	120	
(4)ケアマネジメントサポート事業費	1,189,000	0	1,189,000	975,553	213,447	講師謝金、会場借上料等
2 研修事業費	624,000	0	624,000	389,489	234,511	
(1)フォローアップ全体研修費	100,000		100,000	26,238	73,762	講師謝金、会場借上料等
(2)基礎研修費	124,000		124,000	85,351	38,649	講師謝金、会場借上料等
(3)スーパービジョン実践研修費	300,000		300,000	270,000	30,000	講師謝金、会場借上料等
(4)スーパーバイザー活動支援及び養成研修費	100,000		100,000	7,900	92,100	奥川先生による指導・研修関係費等
3 広報事業費	158,000	0	158,000	157,030	970	
(1)会報発行費	158,000	0	158,000	157,030	970	印刷製本費(年3回:60号・61号・62号)、郵送料
4 情報交流事業費	75,000	0	75,000	35,912	39,088	
(1)会員交流事業費	10,000		10,000	3,800	6,200	全体交流会関係費
(2)医療との連携事業費	65,000		65,000	32,112	32,888	講師謝金等
2 介護ネットシステム積立金	100,000	0	100,000	100,000	0	【介護ネットシステム積立基金】 平成29年度末残高 200,075円
3 事務局運営基金積立金	100,000	0	100,000	100,000	0	【事務局運営基金】 平成29年度末残高 3,317,758円
4 予備費	75,000	-71,548	3,452	0	3,452	
支出合計	3,200,000	19,905	3,219,905	2,728,317	-491,588	

収入	支出	次年度繰越
2,994,179	2,728,317	265,862

基金の運用状況

(1) 介護ネットシステム積立金

(単位:円)

区分	平成28年度末 残高	平成29年度中 増減	平成29年度末 現在高	摘要
定期 預金	419,904	-219,829	200,075	福岡銀行(スーパー定期)

(2) 事務局運営基金積立金


(単位:円)


区分	平成28年度末 残高	平成29年度中 増減	平成29年度末 現在高	摘要
定期 預金	3,217,061	100,697	3,317,758	福岡銀行(スーパー定期)

平成 29 年度会計監査報告書

大牟田市介護支援専門員連絡協議会の平成 29 年度の収支状況について、規約第 18 条の規定により会計監査を実施したところ、現金出納簿及預金通帳の収支金額と領収書・関係書類等を照合した結果、適切に処理されていることを報告いたします。

平成 30 年 4 月 23 日

監 事 橋本 強 

監 事 大森 久美 

平成30年度事業計画（案）

1.活動の基本方針

平成30年度は、介護保険改正と第7期介護保険事業計画が開始される年となる。地域包括ケアシステム、地域共生社会構築に向けて、大牟田市地域医療・介護連携ビジョンにもとづき、当協議会も各専門職団体と連携し活動を推進していく。

そのような中、介護支援専門員は、介護保険制度の理念である自立支援に向けたケアマネジメントの実践者として利用者の生活支援、医療連携の要を担っていくことが求められている。また、認知症や様々な要因により、自身の想いを表現できない方々の代弁者としての役割を果たしていくことも重要である。そこで、当協議会においては、対人援助専門職としての高い専門性と倫理観を身につけることを目指した継続的研修を行うとともに、地域ケア会議への積極的な関わり、主治医をはじめとした医療との連携強化、多職種や地域団体等との連携構築に向けた活動の充実を図る。

また、平成31年の設立20周年に向けて組織や活動内容のあり方を模索していく。

2.事業部会活動計画

(1) 事務局

①役員会の開催

②定期総会の開催

③介護関連イベント、講演会等への参加協力、共催、後援等

介護関連イベント、講演会等への積極的に参加し、行政、大牟田市介護サービス事業者会等と共催実施することにより、当協議会の活動を市民や関係者へ広くPRする。

④他市町村等協議会との連携

大牟田市外の介護支援専門員関係団体等との交流（研修会等への参加を通じ、活動等に関する意見交換や他団体等の活動内容などから、当協議会活動充実のための情報収集を行う）

⑤ケアマネ支援事業（ケアマネジメントサポート事業）

平成30年度から大牟田市の委託事業としてのケアマネジメントサポート事業が廃止されることとなる。平成29年度から取り組み始めた「連携体制構築の取り組み」は、地域包括支援センター圏域毎に特色ある活動として充実しており、今後も継続していく。また、今後のケアマネ支援事業の全体像については、主任介護支援専門員全体であり方を検討していく。

⑥施設ケアマネジメント研究活動への支援

施設ケアマネジメントに関わる実践者とともに、入所施設におけるケアマネジメントについての「研修会企画」を行っていく。また、「支援者同士のネットワーク構築」を目指し、継続的な研修会実施の仕組みづくりを目指す。

⑦地域包括システムの推進、地域共生社会の実現に向けて「介護支援専門員」の役割を模索する

取り組みについて平成29年までは、利用者を地域で支えていくための基盤づくりの重要性を理解することや、地域関係団体等との連携した事例について学ぶ研修会を開催してきた。利用者を地域で支えていくためには、地域とのつながりが必要であることの一定の理解を深めることができた。今年度からは、地域包括ケアシステム推進や地域共生社会にかかわる他分野等を学び、介護支援専

門員としての役割や共働のあり方を模索していく。

⑧会員への情報発信について

リニューアルしたホームページを活用し、当協議会の情報やきらめき等、会員や外部への周知・発信を行っていく。各事業部会共働での実行委員会を立ち上げ、運営・管理・今後の運用方法について検討を行っていく。

⑨「大牟田市介護支援専門員連絡協議会 設立20周年記念事業」について

平成31年度に開催する20周年記念事業の内容について検討を行っていく。

(2) 研修事業部会

①共通研修(フォローアップ全体研修)の開催

大牟田市介護サービス事業者協議会と連携し、対人援助専門職としての専門性を高めるための研修会を開催する。

②基礎研修の開催

対人援助専門職としての基礎知識の習熟を図るための研修会を開催する。

③熟達研修(スーパービジョン研修)の開催

平成29年度からの2年間の課程で、初級編1チーム(21名)と中級編2チーム(27名)で、原則月1回開催しており平成30年度も継続する。

④その他

スーパーバイザー活動支援及び養成研修を継続的に実施する。

(3) 広報事業部会

①会報の発行(年3回)

当会の活動内容などを掲載した会報を発行し、活動の報告・介護サービスに関する情報の共有、提供を行っていく。

②会員への情報発信

ホームページを活用し、協議会の情報やきらめき号外等、介護支援専門員に必要な情報をより早く発信していく。

(4) 情報交流部会

①職種連携の推進・強化

医療や介護、地域で活動している支援者との連携推進強化を目指した、多職種協働の展開を図るための意見交換会や研修会を実施する。

- ・主治医と介護支援専門員との交流事業の開催
- ・医療・介護の多職種、地域団体との連携推進のための交流事業

②会員相互交流

会員間の情報交流や意見交換、多職種との交流会の企画・協力を行う。

議案第4号

平成30年度 大牟田市介護支援専門員連絡協議会一般会計予算(案)

収入の部

(単位:千円)

科 目	平成29年度 予 算 額	平成30年度 予 算 額	増 減	摘 要
1 会員会費	1,359	1,347	-12	事業所会員:41事業所 個人会員:244名(▲4名)
2 負担金	65	60	-5	
参加負担金	65	50	-15	基礎研修・フォローアップ全体研修等
共催負担金	0	10	10	施設ケアマネジメント研究研修に対する大牟田市介護サービス事業者協議会からの共済負担金
3 ケアマネジメントサポート受託費	1,189	0	-1,189	
4 雑収入	1	1	0	預金利子等
5 繰越金	286	265	-21	平成29年度決算繰越金予定265,862円
6 介護ネットシステム積立金繰入金	300	0	-300	
収入合計	3,200	1,673	-1,527	

支出の部

(単位:千円)

科 目	平成29年度 予 算 額	平成30年度 予 算 額	増 減	摘 要
1 事業費	2,925	1,308	-1,617	
1 事務局運営管理費	2,068	532	-1,536	
(1)総務費	180	164	-16	総会関係費(会場借上料、印刷製本費等)、交流費等
(2)事務局業務委託費	360	360	0	大牟田市介護サービス事業者協議会への事務委託費
(3)ホームページ構築費	300	0	-300	
(4)介護ネットシステム運営費	39	8	-31	ドメイン使用料、レンタルサーバー使用料
(5)ケアマネジメントサポート 事業費	1,189	0	-1,189	
2 研修事業費	624	566	-58	
(1)フォローアップ全体研修費	100	100	0	講師謝金、会場借上料等
(2)基礎研修費	124	78	-46	講師謝金、会場借上料等
(3)スーパービジョン実践研修費	300	288	-12	講師謝金、会場借上料等
(4)スーパーバイザー活動支援 及び養成研修費	100	100	0	研修関係費等
3 広報事業費	158	144	-14	
(1)会報発行費	158	144	-14	印刷製本費
4 情報交流事業費	75	66	-9	
(1)会員交流事業費	10	10	0	全体交流会関係等
(2)医療との連携及び多職種 連携事業費	65	56	-9	講師謝金、会場借上料等
2 介護ネットシステム積立金	100	50	-50	【介護ネットシステム積立基金】 平成29年度末残高 200,075円
3 事務局運営基金積立金	100	100	0	【事務局運営基金】 平成29年度末残高3,317,758円
4 20周年記念積立金	0	50	50	
5 予備費	75	165	90	役員会の承認により、必要経費へ流用ができるものとする。
支出合計	3,200	1,673	-1,527	

改正後	改正前
<p>(会費)</p> <p>第6条</p> <p>1～3 省略</p> <p>4 会費納入期限を経過しても、会長に書面にて、退会の旨を申し出なかつた場合は、1年あたりの会費を納入しなければならぬ。</p> <p>(解任)</p> <p>第10条</p> <p>役員が、職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるときは、総会において議決権の過半数による決議を経て解任することができる。</p> <p>(辞任)</p> <p>第11条</p> <p>役員が、心身の故障等のため職務の執行に堪えないと認められるときは、会長に申し出ることにし、辞任することができる。</p> <p>(監事)</p> <p>第12条</p> <p>1～3 省略</p> <p>4 監事の任期・解任・辞任は、役員の例による。</p>	<p>(会費)</p> <p>第6条</p> <p>1～3 省略</p> <p>4 なし</p> <p>(解任)</p> <p>第10条</p> <p>役員が、次の各号に該当ときには、総会において議決権の過半数による決議を経て解任することができる。</p> <p>(1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められるとき</p> <p>(2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき</p> <p>(監事)</p> <p>第11条</p> <p>1～3 省略</p> <p>4 監事の任期は、役員の例による。</p>

大牟田市介護支援専門員連絡協議会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、大牟田市介護支援専門員連絡協議会という。

(目的)

第2条 本会は、介護支援専門員の資質の向上と介護支援専門員間及び他職種とのネットワーク化を図ることにより、自立支援を基本とした介護支援業務の円滑な推進に資することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 介護支援専門員の倫理や専門的知識及び技術の向上に関すること。
- (2) 介護支援専門員間や他職種とのネットワークの構築に関すること。
- (3) 介護支援専門員の業務を遂行するうえで必要となる情報の収集と提供に関すること。
- (4) 介護保険制度の円滑な運営のための社会資源の開発、改善及び量的な確保に関すること。
- (5) 上記に掲げるほか目的を達成するために必要なこと。

第2章 会員

(会員)

第4条 本会は、第2条に掲げる目的に賛同する介護支援専門員又は介護支援専門員実務研修受講試験合格者であって、実務研修を終了見込みの者(以下「個人会員」という)及び介護支援専門員の属する指定居宅介護支援事業者(以下「事業所会員」という)をもって構成する。

2 本会は、前項に掲げるもの(以下「正会員」という)のほか、その目的に賛同する者を準会員とする。

(入会)

第5条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書に1年分の会費を添えて会長に提出し、承認を得なければならない。

(会費)

第6条 会員(以下準会員を含む。)は、会費を納入しなければならない。

2 会費の額は、1年あたり個人会員3,000円、事業所会員15,000円とする。

3 会費の納入の方法は、別に定める。

(退会)

第7条 会員は、次に掲げる場合には、本会を退会する。

- (1) 会員が退会を申し出たとき。
 - (2) 会員が死亡したとき。
 - (3) 正当な理由がなく前条に規定する会費を指定の期日までに納入しなかったとき。
- 2 前項第1号の規定により退会する場合には、会長に書面によりその旨を申し出なければならない。

(除名)

第8条 本会の名誉を著しく傷つけ、又は規約及び倫理に反する重大な行為のあった会員に対しては、役員会の協議を経て、本会から除名することができる。この場合において、当該会員に対して、事前に弁明の機会を与えなければならない。

第3章 組織

(役員)

第9条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 1名
 - (3) 事業部会の長 各1名
- 2 役員は、総会で会員の互選により選出する。
- 3 会長は、本会の会務を総理し、本会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。
- 5 事業部会の長は、事業部会の会務を総理し、事業部会を代表する。
- 6 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 7 任期途中で役員に選任された者の任期は、前任者の残任期間とする。

(解任)

第10条 役員が、次の各号に該当するときには、総会において、議決権の過半数による決議を経て解任することができる。

- (1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められるとき
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき

(監事)

第11条 本会に2名の監事を置く。

- 2 監事は役員会が指名し、総会の承認を得なければならない。
- 3 監事は、本会の会計を監査する。
- 4 監事の任期は、役員の場合による。

(事業部会)

第12条 本会の事業運営に必要な事業部会を置き、設置に必要な事項は別に定める。

(事務局)

第13条 本会の事務局は、大牟田市内に置く。

第4章 会議

(総会)

第14条 総会は、定期総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

2 総会は、会員の過半数の出席により成立し、出席者の過半数により議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 総会の議長は、会議に出席した会員の中から会員の互選により選出する。

4 総会は、次の各号に掲げる事項を議決する。

(1) 事業計画に関する事項

(2) 予算及び決算に関する事項

(3) 前2号に掲げるほか、本会の運営に関する重要な事項

5 定期総会は、毎年1回開催する。

6 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

(1) 役員会が必要と認めたとき。

(2) 会員の総数の4分の1以上から会議の目的を記載した書面をもって開催の請求があったとき。

7 やむを得ない理由により総会に出席できない会員は、予め通知された議案について書面を提出して表決するか、委任状を提出して他の会員に表決を委任することができる。この書面または委任状を提出した者は総会に出席したものとみなす。

(役員会)

第15条 役員会は、役員をもって構成する。

2 役員会は、次の各号に掲げる事項を協議する。

(1) 総会に提出する案件に関する事項

(2) 予算の更正または補正に関する事項

(3) 前2号に掲げるほか、本会の円滑な運営に資する事項

3 役員会は、必要に応じて、随時開催することができる。

第5章 会計

(経費)

第16条 本会の経費は、会費、寄附金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第17条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(決算)

第18条 本会の収支は、毎年度監事の監査を経て、総会の承認を得るものとする。

第6章 規約の変更及び委任

(規約の変更)

第19条 この規約を改正するときは、役員会の発議により、総会において議決しなければならぬ。

(委任)

第20条 この規約に定めるもののほか、本会の運営について必要な事項は、役員会の協議を経て、別に定める。

付則

- 1 この規約は、平成 11 年 12 月 21 日から施行する。
- 2 設立総会において選出された役員及び承認された監事の任期は、次の総会までとする。

付則

- 1 この規約は、平成 13 年 5 月 18 日から施行する。

付則

- 1 この規約は、平成 27 年 4 月 24 日から施行する。

大牟田市介護支援専門員連絡協議会組織図

